

第8回

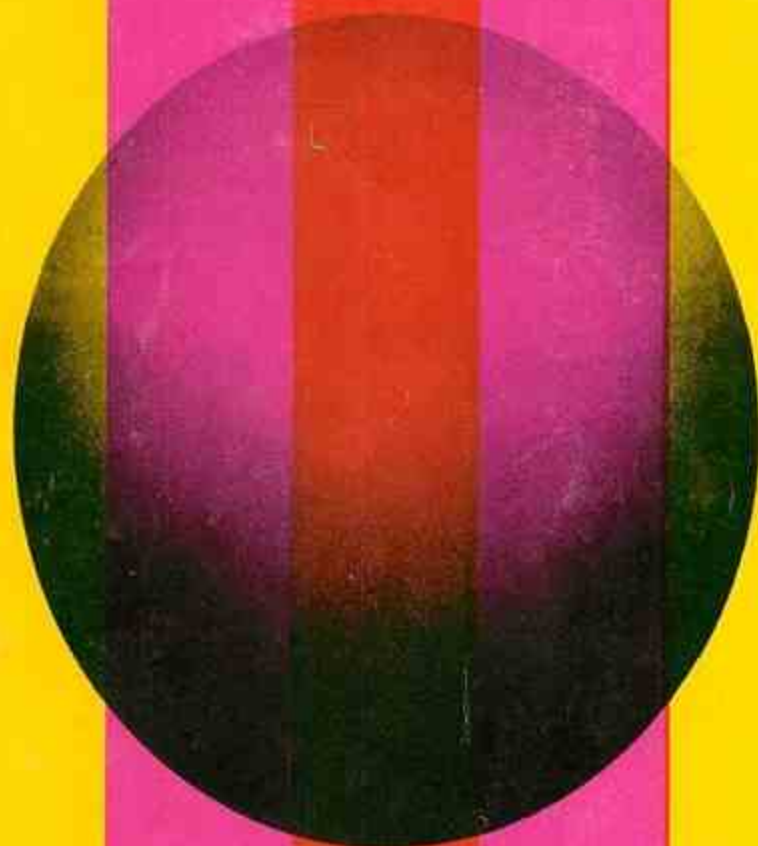
# 県芸術祭

第29回

# 県美術展

期間 / 11月9日(土) → 17日(日) 10:00~17:00 会場 / 県郷土文化会館

主催 / 徳島県教育委員会・徳島新聞社・徳島県芸術祭執行委員会・徳島県美術家協会



商業美術

写真

書道

日本画

洋画

彫塑

美術工芸

写真

招待  
裂  
福島正仁



招待 幼なじみ 勝西雅夫

招待  
秋  
藤井梵



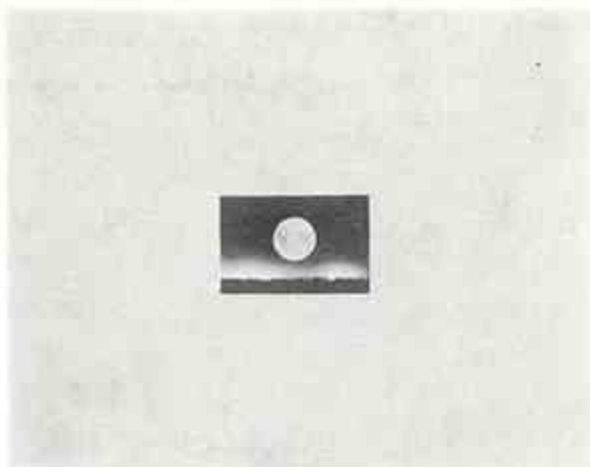
招待 富士 増田清次



招待 艶容女舞衣 西条征二



招待 暁暉 井上光雄



招待 ああ名月 木田英之

特選  
メーデーの男  
米津 莞



特選 阿蘇の朝 楠 武



特選  
春の海  
安長 剛



特選 台風の跡 三好和義



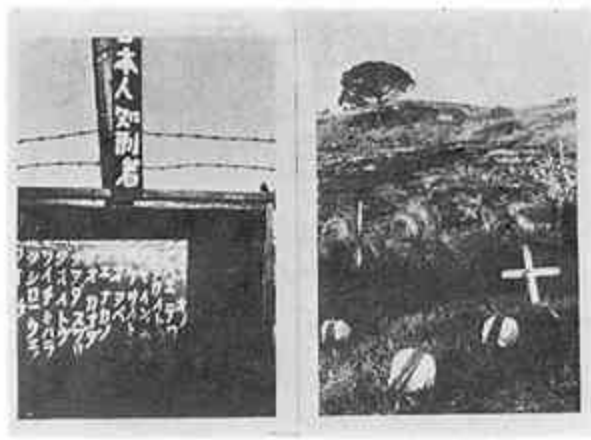
特選 大谷窯 武内 享



特選  
夜の心象  
安長剛



特選 モンテソルバ 山懸高郎



特選 コンテナのある風景 上野照文

特選  
ヴァチカンの印象  
納田康雄



特選  
不毛の島  
堀淵完治



準特選 壁 林賢治

準特選 阿波路の春  
安長 剛



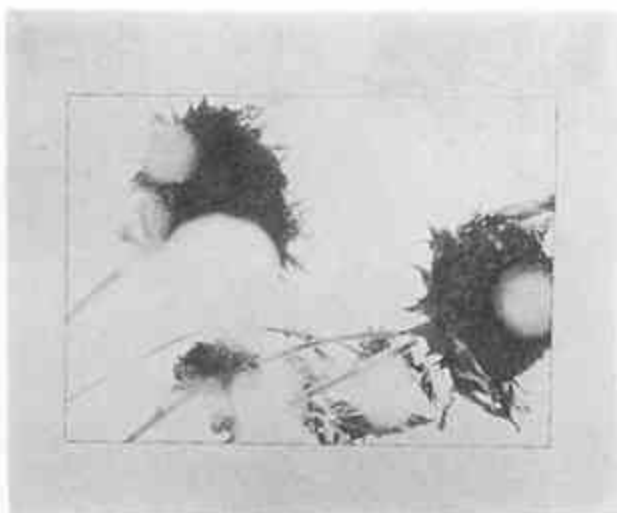
準特選 妻籠の宿  
納田康雄



準特選 廃墟 中川憲四郎



準特選 来訪者 笹田敏雄

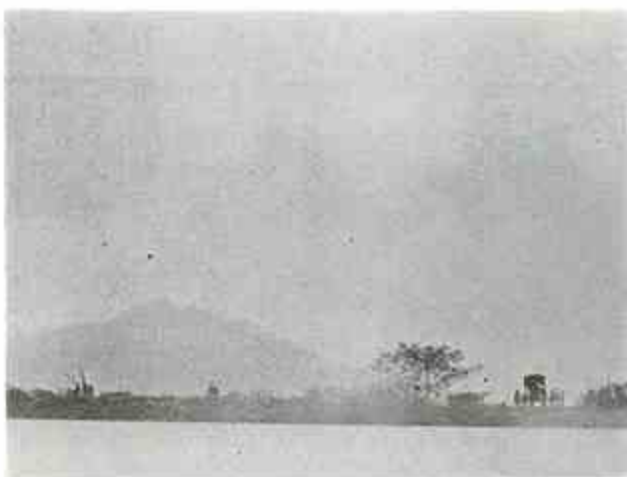


準特選 終焉 安長 剛

準特選  
おんな  
木下純一

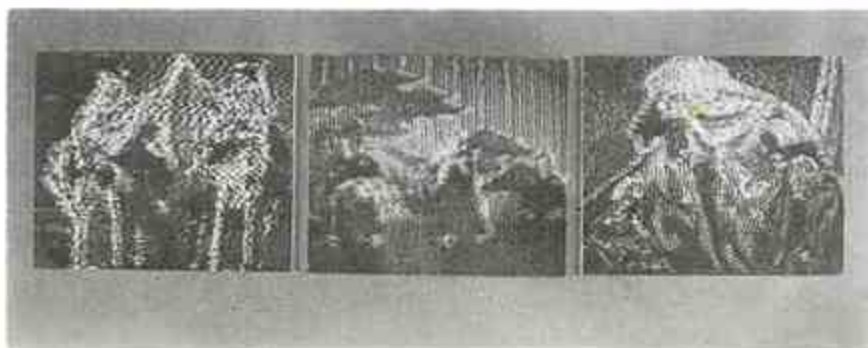


準特選 青春讃歌 三好和義



準特選 里の祭 宮西 実

準特選  
花怨  
山瀬 稔



準特選 烏帽子折より  
酒井博司

△招 待▽

裂 富 暁 あ 艶 幼 秋  
あ 容 女 名 月 嗽 士 福  
舞 衣 月 嗽 士 増 島 正 仁  
み 衣 月 嗽 士 増 島 正 仁  
・ 藤 井 西 條 征 二 之 雄 次 仁  
井 西 條 征 二 之 雄 次 仁  
梵 夫 二 之 雄 次 仁

△特 選▽

大 谷 窯 武 内 亨  
メーデーの男 米津光  
不毛の島 堀 淵 完 治  
阿蘇の朝 楠 潤 武  
ヴァチカンの印象 納 田 康 雄  
コンテナのある風景 上 野 照 文  
夜の心象 安 長 剛  
春の海 山 懸 尚 郎  
モンテンルパ 三 好 和 義  
台風の跡 三 好 和 義

△準 特 選▽

妻 籠 の 宿 納 田 康 雄  
魔 虚 の 中 川 憲 四 郎  
終 焉 安 長 剛

△入 選▽

阿波路の春 安 長 剛  
壁 の 祭 林 賢 治  
里 の 祭 宮 西 実  
お 春 讃 歌 な 木 下 純 一  
青 春 讃 歌 三 好 和 義  
花 怨 山 瀬 好 和 義  
能「鳥帽子折より」 酒 井 博 司  
来 訪 者 笹 田 敏 雄

△入 選▽

釉壁(大谷窯にて) 武 内 亨  
窯焚(〃) 〃 〃 〃  
大 谷 焼 〃 〃 〃  
あ い 染 め 〃 〃 〃  
お弓(阿波木偶より) 〃 〃 〃  
西 本 願 寺 山 田 和 幸  
母 と 子 島 村 泰 邦  
今 年 と 竹 子 〃 〃 〃  
シ ャ バ の 女 〃 〃 〃  
雪 の 道 小 川 英 男  
顔 〃 〃 〃 堀 淵 完 治  
猛 毛 の 大 地 暑 〃 〃 〃  
不 毛 の 大 地 暑 〃 〃 〃  
寂 び 〃 〃 〃 中 野 量 彦  
樹 が 来 た 〃 〃 〃 大 津 弘 志  
鬼 〃 〃 〃 〃 〃 〃

高山の商家	明日香の空	堀り出された街	魔寺廻照庵	たわむれ	春	堰	酷暑・残照	雨の観光地	土俵入り	雪国の農家	渚の印象	夏の午後	海の辺	吹雪の日	冬の陽人	若	新	漁港の朝	阿蘇の新雪	おん	落日	秋	病む	秋	初	つゆくさ
	櫛淵		納田康雄				高野弘治	水間利生	西野弘明			大田修								楠		一宮保治	後藤田弘			岸寛一

---

雪の著蔵寺B	冬の浜辺	男と女	阿波人形浄瑠璃	熊谷寺仁王門欄柱	落	高山寺	雨あがりの公園	嵯峨野の朝	沖の島の印象	寂光院	雪の三千院北	湖	れんげとみつばち	秋	阿波の木偶	失望の日	源之丞虫干しの日	冬	子供と夕日	若者たち	叫び	雪の著蔵	湖北の印象	湖岸冬景	伏見稲荷	飛鳥の石
	熊川泰仁	宮村弘											古井謙吉	浅川理				中川定典	日出豊	三木晴夫	石山正明	岡崎茂春				櫛淵



御嶽の夏	山々の朝	ポンドも	この丈六寺	雪の北海道にて(A)	雪の物花	買いたる	さいはての海	さいはての海	冬のタム	シクラメン	風	砂丘	余呉の湖	清水坂霧情	雪原霧情	熔岩大地	宿場	鳥居島の老舗	伏見稲荷	電話ボックス	おやしとおふくろ	家紋	国旗	白いブレリニート
関口務	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	関口潤二郎	岩崎司朗	山本勝敏	川端均	川端均	川端均	川端均	川端均	中川憲四郎	古井謙吉	関口昭和	岡本公英	岡本公英	五条明	三村和生	泉義雄

---

霊場めぐり	あたる	冬眉成	街角	ヤグ	落陽	早朝の笹流し	一隅	子猿	初秋の城市	のみの	マタドール	窯	クレ	は地のす	路地のる	病め	母と	霧の	ヘルメット	突風	交響曲第1番	しま	阿波踊り	祇園	余呉の冬	湖北の如月
近松克仁	原田敏雄	原田敏雄	吉田信之	吉田信之	永井正信	鈴木秀次	駒坂博元	篠原元	多喜田弘	多喜田弘	多喜田弘	多喜田弘	安長剛	秋月俊教	秋月俊教	秋月俊教	吉田正勝	近藤康之	樋口博美	樋口博美	樋口博美	床波衛	床波衛	関口務	関口務	

仔	日	あ	髪	ぶ	花	灯	あ	牛	海	文	追	春	春	過	ゆ	運	夕	秋	昼	サ	道	主	国	し	遍
	本	そ					じ	と		化				ぎ			映		下	マ			分	じ	
猫	宿	ぶ		た	影		い	人	女	日	憶			風	夏	花	え	晴	り	！			寺	ま	路
	高	城	岡		福		矢	丸	宮	中					山	庄	内		北		津	庄	林	近	
	橋	尾	田		田		口	竜	西	川					下	野	野		川		田	野	賢	松	
"	正	静	文	"	利	"	保			貞	"	"	"	"	勝			"	"	"	幸	好	賢	克	
	憲	子	夫		明		二	久	実	男					正	有	博		克		好	有	治	仁	

---

ボ	古	祭	高	鳥	阿	夏	日	ア	山	雪	雪	祭	初	ヤ	山	牛	牛	落	早	共	マ	犬	子	体	朝	白
イ	寺	り	島		波	の	ぐ	フ	陰	の	の	の	冬			を		陽	春	同	ニ			の	浜	
ン	静	の	の		お	れ	タ	タ	旅	参	参	野	の	ギ	羊	連		の	水	作	ラ		育	民	の	
タ	寂	日	朝		ど	ど	ヌ	ヌ	情	道	道	辺	ギ		爺	れた		パ	辺	業	の	朝	祭	宿	朝	
！	寂	日	朝		り	き	ン		日	日	日	辺				爺		タ	辺	朝	朝	供	祭	宿	朝	
田	花	大		豊				酒	清	片	山					三			多	田	山	小	橋	川		
村	岡	西	"	島	"	"	"	井	重	岡	瀬	"	"	"	好			留	中	懸	山	本	上			
泰	健	健	"	吉	"	"	"	博	政	祥	次	"	"	"	和		見	敏	尚	晴	久	久	た			
弘	徹	一		孝				司	夫	次	稔				義		敏	敏	郎	之	一	一	か			
																	男	彦	郎				と			

光	る	ふ	ね	田村泰弘
丈	あめりか	でい	こ	吉川忠久
安	蜘蛛の	季節	寺	内藤正己
接	待屋に	て	西村克也	
能	登の	夕映え	笹田敏雄	
田		園		
休		日		
残		光		
湖		上		
雲				
ボ	ート	レース	生田秀男	
ラ	ジ	オ体操		
馳	け	る	森賢一	
光	の	セレナーデ	平山成美	
厄	除	祈願	小寺要	
神		馬	原田忠義	
落		日		

〔審査評〕

岩宮武二

(大阪芸術大学教授)

ことは組み写真の出品がふえているが、イーシーに組んであるのが目立った。これは残念。審査の途中で何度も説明したことが、た

った一枚、写真が余分にくっついていることで、落っこちた作品がたくさんあった。組み写真は説明のために組むのでなく、組まれることによって新しい価値を創出し得なければならぬ。しかし全体に去年より進歩している。去年も審査したので、実感としてわかる。とはいえ、進歩したら進歩したなりに、新しい課題がある。特選になった作品だとして同じことである。写真というものは、それほどむづかしい。安長剛さんは非常に力のある人で準特以上を決める審査に七点残った。どれもはずすのは惜しい作品だったが、具展という性格を考慮して、三点を除外して、特選二、準特選二とした安長さんの特選作品「夜の心象」「春の海」のどちらとも、すばらしい作品で、全国どこでも通用する。造形的な作品をとれると同時に、シャッターチャンスでも勝負できる人だ。

米津光「メーデーの男」(特選)は表情からいろんなことがわかってくる。いわゆる語りが多い写真だ。トーン良好。

三好和義「台風の跡」(特選)は粗粒子になっていること、ピントが甘いことが逆に臨場感を生んでいる。地平線の傾斜させたことは可。

掘淵完治「不毛の島」(組・特)はオーソドックスにとって、異風な写真を構成している。これだけの確な表現ができれば立派だ。

楠武「阿蘇の朝」(カラー、単・特)はブルーのトーンがよい。画面に寒さを感じられる。武内享「大谷窯」(カラー、単・特)はタイミングのよろしさ。また視角の発見もある。山泉尚郎「モンテナルバ」(組・特)は組み写真として成功している。トリミングもよい。

納田康雄「ヴァチカンの印象」(組・特)は、外国へ旅行してこれだけのものをとってくる実力に驚いた。主題表現にじゅう滞がない。

上野照文「コンテナのある風景」(特選)は、シャープで神経の行き届いたところを買った。